

OASIS LLC 活動報告（2017年1月17日）

世田谷ボロ市（第 439 回）での《岩魚プロジェクトのアピール》を無事終了いたしました。これで、2016年の「岩魚文化振興プロジェクト活動」を締めくくり、これから新たに、岩魚プロジェクトの2017活動計画をブラシアップし、活動を再開します。

OASIS llc のボロ市での「アピール内容」と活動状況のスナップ写真を公開いたします。

アピールポイントをPOPにして掲げました



「岩魚の愛好家の会を組織し、イワナ文化を振興する」・・・ということが肝なんでしょうね。

## 2m間口・奥行き1m:《岩魚のPR》のお店

(食品の販売や飲食サービスが禁止されているコマなので・・屋外広告機能に専念)



## お店番の働きぶりのスナップを撮影していただきました



「イワナ」「嬭恋」「群馬」「釣り」などのキーワード・・その人の心をひくなにかがあると、足を止めてくれる・・その瞬間に話しかけて、関心事を見つけて話を始める・・そのコツがだんだんつかめてきたように感じております。

9時から20時(19時半ころからは閉店作業開始)までのボロ市・・当面は独りで対応。出店準備と閉店のかたづけ作業(搬出入の移動時間なども)に各一時間はかかるので、大手広告会社並みの重労働。もちろんこの直前まで、プレゼンの中味の準備でテンテコマイです。それでも、好きな仕事であれば・・また出来の悪い中間管理職の圧力がなければ・・「かるい風邪をひく・・」位で乗り切れますよ・・それが、プロモーション屋の実態(むかし朴念仁は、ある広告会社を勤め上げました)・・体力(心身とも)が壮健である必要がありますね・・プロモーション屋は。

## イベント出店で心掛けたこと・感じたこと

- ✂ 今回は、《岩魚のビオトープ・パークづくり》に焦点を当てて、アピールをしました。
- ✂ 終了後、FBP へ次の報告記事を掲載しました。

2016年の岩魚プロジェクト活動は、昨日のボロ市におけるパブリシティ展開で、一段落です。  
天気晴朗なれども、風・・まだまだ寒むし！

.....

おなじボロ市でも、師走と正月明けでは、人の心がだいぶ異なるようですね。小生（朴念仁）・・昨年は9月から年末まで、多事多難が続きましたが、ボロ市出店を終えてようやく平穏にもどり、岩魚プロジェクトにおちついて取り組めそうです。

なおこの「1月のボロイチ」までを、昨年の計画による活動と位置付けています。  
そしてこれからは、新たな心で計画を立て直し、前向きに進みます。

・・多くある課題・・お客様と談笑ながら・・どのように仕事を編んでいくべきかが、見え始めたようです。

.....

なお・・世田谷代官屋敷の市まで足を伸ばしていただきました・・みな様、ほんとうに有難うございました。1月15日（日曜日）の人出は、すぐ前の肉屋さんのスタッフの感想では・・「10年ブリの人出」だったようです・・ボロ市名物「肉屋さんのフランフルトソーセージ」は、16日の昼る前に売り切れ・・午後は開店休業状態。

OASISの出店条件が「食品（岩魚の干物）販売や試飲試食の行為」が差し止められていたので、今回は《タイアップ作戦》を転帰するつもりです。

自分のコマでいろいろ無理するよりは、酒屋さんに《イワナ酒》の「コップ酒販売」をお願いしたり、食品店に「いわな乾物」を商品として置いてもらったり、いま開発中の「イワナ酒が呑めるお店のネットワーク」を、ボロ市周辺に厚く展開するなど・・今年中に準備をしておきたい。

- ✂ お客様にけっこう長い時間を割いて説明しちゃう・・《迷惑な説明員》・・であるのに、けっこうはなしをきいてくれました（もちろん、逃げたい雰囲気が見られれば、即座に話を切り上げるのですが、聞く方も忍耐強いですよ）・・話の内容が、皆の心に響くのかもかもしれません。
- ✂ なお説明んがお客様に長々と解説するお話の要旨（相手によって、しゃべることの要点は全く別になります。・・またどこまで詳しく話すかも、受け手の反応をもながらです）。

①キャベツの孀恋村の畑の真ん中に泉があって、イワナが棲息していた。ここで昭和の20

年代に岩魚の養殖技術を開発し各地に卵・稚魚を売っていた「池の爺さん」が、営んでいる養魚場を・・・もう 80 才になるからやめた・・・と宣言。息子さんは、別の近代的施設で養魚を続けている。

②自分は、この養魚場でイワナを買って食べていた通行人（世田谷の住人）・・・池とは縁のない人である。

2 年前に、《池の爺さま》から「もう自分は養魚はやめる。養魚場はそのまま水を流しておくだけ・・・だから、もう岩魚は売れないよ・・・」と云われて・・・

《池が放置されたままになるのはもったいない》

と・・・いろいろ話しているうちに・・・爺さんの弟子にしてもらって池を一つ借り、いま岩魚の干物づくりを行っている。そして爺様と今後の池の活用について相談できるようになった。

③古いタイプの池で、泉がある裏山から尻の池の末まで約 500 m・・・それも溪流の流れる坂道。いまの時代では生産施設としては向かなくなっている（労働条件が悪い）。

でも、昔からの養魚池なので、電気エネルギーなどは使わない・・・自然を生かした養魚場。

そこで、ここを「ビオトープ・パーク」にして、子供たちの学習の場に活用したり、また会員の予約制で釣りパーティー・BBQなどを開催できるように整備したく・・・今年から池の爺様と作業を開始する。・・・いまはまだ利用できない。（いま行ってみたい場合は、メールで事前に相談を入れてほしい）

④ビオトープ・パークの利用法は、「イワナが好きな方たち」を「会員」にして、会員制で利用できるようにする。

なお「会員」とは、《クラウドファンディングで「イワナを予約注文」した方のなかの「会員希望者」》。

いつもは無人の孀恋の施設ではあるが、会員からの予約については、お迎えの準備をする。なお、施設内では、「自分たちが自己責任で安全管理」をしていただく。

利用料は通常の釣池の料金並みで、BBQ用の施設などをそろえておき、DIYでグループ活動ができるように考えている。

⑤このようにして・・・「会員からの岩魚予約販売収入」を確保しながら、岩魚処理場（厨房施設）などの充実をすすめる。

まず今年は、春から池の爺様と私のできる次の準備活動を開始する予定。

- ➡ 泉を観覧する展望台の整備、
- ➡ 園内の遊歩道の整備、
- ➡ 釣り池管理小屋の整理、
- ➡ 岩魚畜養池の掃除（沈殿泥の処理）、
- ➡ 日本庭園の四阿での焼き魚調理施設、
- ➡ 塀などの整備・・・記念写真がとれるように整備、

→ シャクナゲの植林

⑥実際にこれらのサービスを提供できるのはまだ先（夏頃から？）

いまこの構想についてみなさん(ボロイチ来場者)にお話をし、皆さんの反応を調査中。  
近々 実行計画をつくって、動き出すので、FBPで見守っていてほしい。・・・パンフレット  
に、FBPやWWWのアドレスがあるので、是非見てください（お願い）。

⑦なお、岩魚のおいしさを知ってもらうために、「イワナ酒が呑めるお店のネットワーク」  
を開発しご紹介している。ぜひお店に行ってみてください。

また《イワナ酒の素(干物)》は、パンフのメールアドレスにご相談いただければ《1尾  
@1000円：3尾なら送料無料》で、オーダーメイド対応します。

なお、会員制は、岩魚の会員制販売のメンバーにもなっていていただく予定です。

※ 本岩魚プロジェクトの計画はけっこう時間のかかる内容なので、見守っていただければ  
ありがたく。

✂ つこのような複雑な内容なので、全部をお話するためには10分は必要なのですが、熱心に話を聞いていた方も多くありました。・・・2日間で、一部分だけでもお話しできた方の数は・・・30人（組）前後になったはずです。また16日の朝には、子供たち（学校から）のボロ市見学が多く、付き添いの先生に・・・「岩魚のビオトープを開発します」とビラを押し付けました。まじめに「あ、そうですか・・・」と受け取ってもらえた方は、6名（10名程度に差し出して。ガッコの理科の先生へのアプローチも、いずれ重要になります）

✂ なお、ボロ市の人出・・・日曜は好天であったためか、10年ぶりの人出だったようです。イワナの干物や、イワナ酒を商えればだいぶ成果があるんだろうな・・・と感じました。

以上